

ダイワ世界債券ファンド(毎月分配型) (愛称:ワールドプライム) 第37期決算から第46期決算の運用状況について

大和証券投資信託委託株式会社

「ダイワ世界債券ファンド(毎月分配型) (愛称:ワールドプライム)」の1万口当たりの税引き前の分配金は、第37期決算日(2009年1月20日)に80円から50円に、第46期決算日(2009年10月20日)に35円に引き下げています。この期間の基準価額(分配落ち後)は、2009年1月20日の6,800円から、2009年10月20日現在では7,634円となっています。これを設定来の修正基準価額(分配金税引前再投資ベース)でみますと、2009年1月20日の8,583円から2009年10月20日に10,214円まで値上がりしており、当該期間の騰落率は+19.00%となっています。

<項目別要因分析>

修正基準価額	変化	債券要因	為替要因	信託報酬要因
2009/01/20 8,583	1,631.0	71.4	1,654.5	-94.9
2009/10/20 10,214	19.00%	0.83%	19.28%	-1.11%

※ 修正基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして修正した基準価額です。

※ 修正基準価額は、小数点以下第1位を四捨五入して表示していますが、変化および騰落率は小数点以下を反映しています。

<通貨別要因分析>

債券要因	米ドル	カナダ・ドル	豪ドル	英ポンド	ユーロ	北欧通貨			東欧通貨		
	米国	カナダ	豪州	英国	ユーロ圏	スウェーデン	デンマーク	ノルウェー	ポーランド	チェコ	ハンガリー
2009/01/20比:円	-14.1	6.1	-56.1	61.8	60.9	-4.1	11.2	-3.1	2.5	0.8	5.4
騰落率	-0.16%	0.07%	-0.65%	0.72%	0.71%	-0.05%	0.13%	-0.04%	0.03%	0.01%	0.06%
通貨圏計(2009/01/20比:円)	-14.1	6.1	-56.1	61.8	60.9	12.8					
騰落率	-0.16%	0.07%	-0.65%	0.72%	0.71%	0.15%					

為替要因	米ドル	カナダ・ドル	豪ドル	英ポンド	ユーロ	北欧通貨			東欧通貨		
	米国	カナダ	豪州	英国	ユーロ圏	スウェーデン	デンマーク	ノルウェー	ポーランド	チェコ	ハンガリー
2009/01/20比:円	-1.4	327.0	586.0	218.3	230.4	94.5	84.9	53.2	36.4	11.5	13.6
騰落率	-0.02%	3.81%	6.83%	2.54%	2.68%	1.10%	0.99%	0.62%	0.42%	0.13%	0.16%
通貨圏計(2009/01/20比:円)	-1.4	327.0	586.0	218.3	230.4	294.2					
騰落率	-0.02%	3.81%	6.83%	2.54%	2.68%	3.43%					

要因総計	米ドル	カナダ・ドル	豪ドル	英ポンド	ユーロ	北欧通貨			東欧通貨		
	米国	カナダ	豪州	英国	ユーロ圏	スウェーデン	デンマーク	ノルウェー	ポーランド	チェコ	ハンガリー
2009/01/20比:円	-15.5	333.1	529.9	280.1	291.3	90.4	96.1	50.1	38.9	12.4	19.0
騰落率	-0.18%	3.88%	6.17%	3.26%	3.39%	1.05%	1.12%	0.58%	0.45%	0.14%	0.22%
通貨圏計(2009/01/20比:円)	-15.5	333.1	529.9	280.1	291.3	306.9					
騰落率	-0.18%	3.88%	6.17%	3.26%	3.39%	3.58%					

※ 上記要因分析は、基準価額の変動要因の傾向を把握するために大和投資信託が日々のデータをもとに簡便法により算出した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。計算にあたっては、「分配金再投資基準価額」を用いています。分配金再投資基準価額とは収益分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして修正した価額です。なお信託報酬要因には、信託報酬のほか、コスト等その他要因が含まれます。

※ 上記データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

上の表は、当該期間の修正基準価額の要因分析を示したものです。債券要因とは、現地通貨ベースの債券価格の変化(実現および評価損益)による損益と、利息収入の合計が基準価額へ与えた影響を表わしています。世界的に総じて債券利回りが上昇(債券価格は下落)した影響よりも利息収入全体の合計が上回り、基準価額が0.83%値上がりする要因となっています。為替要因とは、外貨建て資産の対円為替相場の変動による損益(実現および評価損益)が基準価額へ及ぼした影響を表わしています。為替市場では米ドルを除く全ての通貨で円安が進行したため、為替要因は基準価額に対して19.28%のプラス寄与となっています。

1

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■ 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■ 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■ 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■ 分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。■ 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■ 証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

当ファンドの取得をご希望の場合には「投資信託説明書(交付目論見書)」を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認いただき、投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。

販売会社についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212 (営業日9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

為替市場

対円相場	2009/10/20	2009/1/20	変化率
米ドル	90.67	90.43	+0.27%
カナダ・ドル	88.16	71.93	+22.56%
ユーロ	135.74	117.61	+15.42%
英ポンド	148.54	129.02	+15.13%
デンマーク・クローネ	18.24	15.79	+15.52%
スウェーデン・クローネ	13.09	10.80	+21.20%
ノルウェー・クローネ	16.31	12.83	+27.12%
ポーランド・ズロチ	32.50	27.58	+17.84%
チェコ・コルナ	5.27	4.29	+22.84%
ハンガリー・フォリント	0.5112	0.4172	+22.53%
豪ドル	84.17	59.96	+40.38%

(出所) 大和投資信託

上の表は当該期間の各通貨の対円相場の変動を示したものです。米ドルは大きく変動しませんでした。それ以外のすべての投資対象通貨は、豪ドルの+40%を筆頭に、円に対して大幅に上昇しています。

為替市場全体の動きとしては、4月以降、世界経済が最悪期を脱したとの見方が広がるとともに、世界的に株価の上昇が続き、資源価格も上昇傾向をたどるなど、投資家のリスク選好回復期待が高まり、金利の低い米ドルや円を調達して金利の高い通貨に投資する気運が高まりました。また、IMF(国際通貨基金)を中心に新興国へ支援体制が構築されたことから、新興国が経済危機に陥ることへの懸念が大きく後退したため、東欧等の新興国通貨も総じて上昇しました。

各通貨(圏)の為替相場動向は以下のようになっています。

- ・米ドルは、円以外の主要通貨に対して全面安傾向となりました。リスク選好の回復期待により、米ドル・キャリー取引(金利の低い米ドルを調達し、金利の高い通貨の金融商品に投資する取引)が活発化したためと考えられます。

- ・カナダでは、BOC(カナダ銀行)が2010年6月末まで現行政策金利(0.25%)を基本的には維持する意向を表明しています。低金利政策の長期化観測にもかかわらず、昨年秋の世界的な金融危機以降も金融システムの健全性が保たれていることや、原油価格が上昇したことなどにより、米ドルに対して大幅に上昇しました。

- ・オーストラリアでは、RBA(豪州準備銀行)が4月まで大幅な利下げを続けたものの、景気回復傾向が明確となったとの判断から、10月6日に政策金利を3.00%から3.25%に引き上げました。主要輸出相手国である中国経済が好調であり、貿易面からの恩恵も期待され、豪ドルは大幅に上昇しました。

- ・ユーロ圏の景気センチメントが改善したことに加え、ECB(欧州中央銀行)の政策金利が1.0%と日米に比べて高いことなどから、米ドルや円に対して上昇しました。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

当ファンドの取得をご希望の場合には「投資信託説明書(交付目論見書)」を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認いただき、投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさようお願い申し上げます。

販売会社についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

・北欧では、デンマークはERM II（自国通貨の対ユーロの変動幅を一定内に収める制度）参加国で、ユーロに対してほぼ連動して推移しました。また、スウェーデン通貨は、バルト諸国向けの民間銀行融資額が大きいことから、同地域の経済危機懸念の変動の影響を受けたものの、結果的に堅調推移となりました。また、ノルウェー通貨は、原油価格上昇に加えて、順調な景気回復傾向にあり、早期利上げ観測も台頭したことから、大幅に上昇しました。

・東欧では、世界的に景気回復期待が高まったことや、IMF（国際通貨基金）を中心とした新興国への国際支援体制への信認が高まったことにより、経済危機への懸念が大きく後退したことから、大幅に上昇しました。

・英国では、中央銀行が3月に政策金利を0.5%に引き下げた後、政策金利を据え置く意向を表明しながらも、積極的な量的緩和策を実施しました。対ユーロでは原油価格上昇や景気センチメント回復による上昇局面、量的金融緩和の拡大観測による下落局面を織り交ぜながら、当該期間では結果的に対円ではユーロと同じような上昇率となりました。

債券市場（5年国債利回り）

	2009/10/19	2009/1/19	変化
米国	2.34	1.47	+0.87
カナダ	2.82	1.65	+1.17
ドイツ	2.49	2.28	+0.21
英国	2.66	2.90	-0.24
デンマーク	3.20	3.23	-0.03
スウェーデン	2.61	2.19	+0.42
ノルウェー	3.68	3.15	+0.53
ポーランド	5.59	4.83	+0.76
チェコ	3.46	3.54	-0.07
ハンガリー	6.96	9.40	-2.44
豪州	5.48	3.56	+1.93

* デンマーク、ノルウェー、チェコは6年国債

(出所) 大和投資信託

上の表は当該期間の各国5年国債利回り（デンマーク、ノルウェー、チェコは6年国債）の変化を示したものです。世界的に債券利回りは総じて上昇傾向（債券価格は下落）となりました。

世界的に景気回復期待が高まったことに加えて、米国を始めとして、景気対策や金融システム危機対策で積極的な財政政策が発動されたことから、国債発行増加による需給悪化懸念が高まりました。また、多くの国（地域）で政策金利が限界的な水準まで引き下げられており、これまで経験のない低金利環境となっているため、将来のインフレ圧力増大に対する漠然とした不安が生じたことも、利回り上昇圧力となりました。さらに、昨年秋以降の金融危機局面で、「質への逃避」により国債が大幅に買われた反動という側面もあるでしょう。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

当ファンドの取得をご希望の場合には「投資信託説明書（交付目論見書）」を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認いただき、投資に関する最終決定はお客さま自身の判断でなさようお願い申し上げます。

販売会社についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212（営業日9:00～17:00）HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

< 分配金引き下げの理由 >

大幅な円安が進行したことを背景に、当該期間の運用実績は好調でした。第46期決算日(2009年10月20日)に分配金を引き下げたのは、収益分配方針、現在の収益分配可能額の水準などを総合的に勘案した結果です。

弊社の分配金の考え方は、ファンドの収益分配方針、収益分配可能額の水準、配当等収益の水準、基準価額の水準、市場環境等を総合的に勘案して分配金額を決定するというものです。

分配金については、期中に得られる配当等収益を超える額は過去の蓄積等からなる「分配準備積立金」および「収益調整金」を充当して参りました。その結果、収益分配可能額の水準が低下し、分配金のさらなる引き下げが必要との判断に至りました。

なお、当ファンドの収益分配方針は、以下のとおりとなっています。

◆分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。

◆原則として、安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、基準価額の水準等によっては、上記にかかわらず今後の安定分配を継続するための分配原資の水準を考慮したうえで分配をすることがあります。

◆分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

※ 分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づき委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額が変更されたり、あるいは分配金が支払われない場合もあります。

< 今後の見通し >

オーストラリアが政策金利引き上げに踏み切るなど、世界経済は一時の深刻な不振を脱し、回復基調にあります。

しかし、世界的に雇用の不振が続いており、消費の大幅な伸びが期待できないことから、世界景気の回復ペースは緩やかなものとなりそうです。その中でも日本は潜在成長率が低いことや、デフレ圧力の高まりが懸念されていることから、先進各国が利上げの時期を模索する状況となっても、利上げが現実的に視野に入ってくるのは時期的に相当遅くなることが想定されます。金融危機対策のために各国が実施してきたマネー供給により、世界的に潤沢な資金が投資先を求めており、株式市場は世界的に堅調な推移となっていることから、投資家のリスク選好姿勢は再び高まりつつあることがうかがえます。円については、債券利回り水準が相対的に低い水準にとどまることから、為替市場では円安圧力が徐々に高まっていく展開となるとみています。日本の投資家にとって、通貨をバランス良く分散した外国債券ファンドへの投資を行なうことは、今後も有益であると考えています。

以 上

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

当ファンドの取得をご希望の場合には「投資信託説明書(交付目論見書)」を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認いただき、投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさようお願い申し上げます。

販売会社についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ世界債券ファンド(毎月分配型) (愛称:ワールドプライム)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの特色

主として6本のマザーファンドの受益証券を通じて、外貨建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。1)米ドル、2)カナダ・ドル、3)豪ドル、4)ユーロ等、5)英ポンド、および6)北欧・東欧通貨の各通貨建ての公社債等に均等に投資することをめざします。原則、為替ヘッジは行ないません。ダイワ世界債券ファンド(年2回決算型)※との間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。

※ダイワ世界債券ファンド(年2回決算型)については、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドにかかるリスクについて

公社債など値動きのある証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、公社債などの価格下落や、発行企業・発行体の経営不安、倒産等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。基準価額の変動要因については、次のとおりです。①公社債の価格変動(価格変動リスクや信用リスクなど) ②外国証券への投資に伴うリスク(為替リスクやカントリー・リスクなど) ③その他(解約申込みに伴うリスクや短期金融資産の信用リスクなど) これらのリスクを含むより詳細な内容は、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」に記載しておりますのでご確認ください。

ファンドにかかる手数料等について

ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。

直接ご負担いただく費用

◆申込手数料

当ファンドの申込手数料の料率の上限は、2.1%(税抜2%)です。

「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、お申込手数料はかかりません。(スイッチング(乗換え)によるお買付時の申込手数料については現在徴収している販売会社はありません。)

※詳しくは販売会社にお問い合わせください。

◆換金(解約)手数料

換金(解約)手数料はありません。

◆信託財産留保額

信託財産留保額はありません。

保有期間中に間接的にご負担いただく費用

◆信託報酬

信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に年1.3125%(税抜1.25%)の率を乗じて得た額とし、ファンドよりご負担いただきます。

◆その他の費用

監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等をご負担いただきます。(その他の費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。)

当該手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手数料等及び税金」に記載しておりますのでご確認ください。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等

大和証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号

加入協会

日本証券業協会

社団法人日本証券投資顧問業協会

社団法人金融先物取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

社団法人投資信託協会

社団法人日本証券投資顧問業協会

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

当ファンドの取得をご希望の場合には「投資信託説明書(交付目論見書)」を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認いただき、投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。

販売会社についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>